

**エアバッグのリコール届出が行われました!!  
対象エアバッグの取外回収をお願いします**

平素は、エアバッグ類の適正業務の遂行にご尽力いただきありがとうございます。

さて、今般2022年11月11日付にて以下メーカーの一部車両において、リコール届出が行われました。つきましては、以下「2.確認手順」に従い、対象車台のリコール対策済みであるかご確認頂き、対策未実施の車台は取外回収をお願いいたします。

本件は、令和2年12月22日付届出番号「外-3143」で届出したものですが、対象範囲を拡大する必要があるため、追加で届出するものです。

1.対象車両

メーカー名	対象車両	部 位	リコール 番号
ボルボ・カー・ジャパン 株式会社	平成12年6月～平成19年11月輸入の ボルボ「V70」「XC70」の一部車両	運転席	外-3494

リコールの詳細内容、対象車台の範囲については、以下の HP 等にてご確認ください。

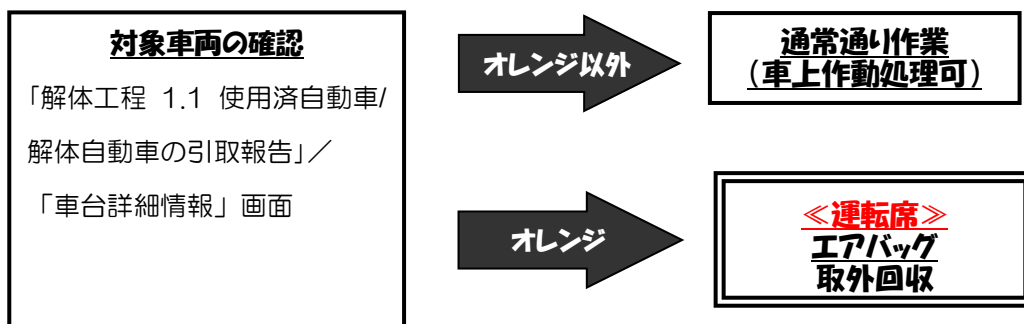
< 国土交通省 HP > <http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall.html> (R4/11/11)

< 問い合わせ先 > <https://vc-japan.jp/recall/>

ボルボ・カスタマー・センター 0120-55-8500

< 自再協 HP > <https://jarp.org/index.html> (2022年11月上旬掲載予定)

2.確認手順



自動車再資源化協力機構 (自再協)  
TEL: 03-5405-6150 / E-mail: info@jarp.org

## <確認方法・移動報告画面>

### 【確認①】対象車両の確認

#### ◆1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告(解体工程)

解体工程 > 使用済自動車/解体自動車引取報告 > 情報管理センターへの報告 (JPRS3100)

メニューに戻る

#### 1. 引取実施事業者(自社)情報

事業所コード 123456789012 事業者/事業所名 詳細 ○○解体 ●●●営業所

#### 2. 引取対象車台の一覧 ※エアバッグ類処理対象は、必ずいずれかを選択してください。

該当車台は10件です

前ページ

次ページ

1 / 1 ページ

最新の一覧取得

表示件数 50件

並び替え

引渡報告日(昇順)

引渡報告日	引渡元事業者/事業所名	車台番号	型式	車名	※参考加付類装備	エアバッグ類※ 処理対象選択		引取報告 対象選択
						自社 処理	次業者 処理	
2010/11/29	○○回収事業所 ××営業所	123456789012	ABCDEFGHIJ	通常車台	有	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
2010/11/29	○○回収事業所 ××営業所	123456789012	ABCDEFGHIJ	一時停止車台	有	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
2010/11/29	○○回収事業所 ××営業所	123456789012	ABCDEFGHIJ	特定車台	有	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>

リコール対象車両は背景色が「オレンジ」で表示されます。

解体工程「1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告」にて、背景色が「オレンジ」で表示されている車台が、リコール対象エアバッグ類装備車両となります。

### 【確認②】対象部位の確認

#### ◆車台詳細情報画面(解体工程)

1. 車台情報		◆メーカーからのお知らせ	
車台番号	1001	メッセージ	関連するエアバッグ類装備部位
◆リサイクル料金預託の有無	無	メッセージ	助手席
フロン類預託	有	メッセージ	
エアバッグ類預託	有	メッセージ	
◆車台装備情報		メッセージ	
フロン類車種クラス	商用車等	メッセージ	
脱フロンエアコン	無	メッセージ	
架装物区分	01: 架装物はリサイクル料金に含まれる	メッセージ	

リコール対象部位は背景色が「オレンジ」で表示されます

オレンジ表示されている車台の「詳細」から車台詳細情報を開き、リコール対象部位をご確認ください。

### 【確認③】処理方法の選択の確認

#### ◆1.10 処理方法選択画面(解体工程)

2. 処理対象車台の一覧 (主) エアバッグ類の一部を「取外回収」し一部を「車上作動処理」		◆メーカーからのお知らせ	
引取報告日	車台番号	型式	メッセージ
2018/03/28	X00-X0000X	X-X00X	シャツイ
2016/03/29	X00-X0000X	X-X00X	シャツイ
2016/03/28	X00-X0000X	X-X00X	シャツイ
2014/12/23	X00-X0000X	X-X00X	シャツイ
2014/12/22	X00-X0000X	X-X00X	シャツイ
2013/05/16	X00-X0000X	X-X00X	シャツイ

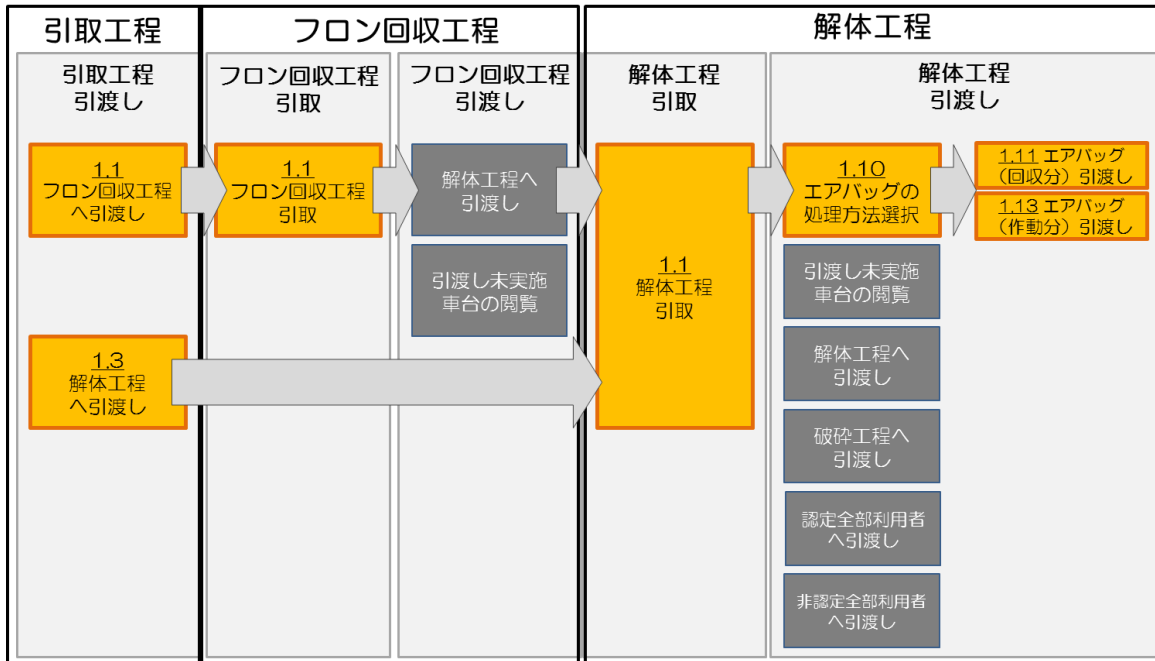
間違いなく処理選択されているか必ずご確認ください。

【車上作動契約がある場合】リコール対象部位を取外・それ以外の部位を作動している場合、「取外」「作動」の両方にチェックをして処理選択してください

なお、「1.11 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告」「1.13 エアバッグ類(車上作動処理)の引渡報告」でもオレンジ表示が確認できます。

### 【参考1】オレンジ表示確認画面範囲

解体業者の方で、引取業とフロン類回収業を兼任されている事業所は、引取工程の引渡報告画面、フロン類回収工程の引取報告画面においても、リコール対象車台のオレンジ表記がされるようになっていきます。



自動車メーカーが実施するリコール車両の追加及びリコール対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面をご確認ください。また特別費用支払対象車両は、解体工程でオレンジ表示されているリコール対象車台となります。

### 【参考2】引取工程・フロン類回収工程での確認

#### ◆引取工程の使用済自動車の引渡報告画面(解体業者兼任限定)

引取工程【1.1 フロン類回収業者への使用済自動車の引渡報告】【1.3 解体業者への使用済自動車の引渡報告】画面にてリコール対象エアバッグ類装備車両の背景色が「オレンジ」で表示されます。

4. 引取報告済車台の一覧

引取報告日	車台番号	型式	車名	フロン類種別	※参考エアバッグ類装備	備考情報	引取報告対象選択
2013/04/25	SD2AT-501025	U-SD2AT	マツダ	HFC	無		<input type="checkbox"/>
2013/04/25	UCF21-004577	E-UCF21	トヨタ	HFC	有		<input checked="" type="checkbox"/>
2013/04/27	CTS1C-504						<input type="checkbox"/>
2013/04/27	JA4-19227						<input type="checkbox"/>

リコール対象車両は背景色が「オレンジ」で表示されます。

※自動車メーカーが実施するリコール車両の追加及びリコール対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面を確認ください。

#### ◆フロン類回収工程(解体業者兼任限定)

フロン類回収工程【1.1 使用済自動車の引取報告】画面にてリコール対象エアバッグ類装備車両の背景色が「オレンジ」で表示されます。

2. 引取対象車台の一覧

引渡報告日	引渡元事業者/事業所名	車台番号	型式	車名	フロン類車種	フロン類	※参考エアバッグ類	引取報告対象選択
2013/05/13	自動車リサイクル事業所							<input type="checkbox"/>
2013/05/16	自動車リサイクル事業所							<input type="checkbox"/>
2013/05/16	自動車リサイクル事業所	X0X-X0000X	X-X00X	シャブイ	乗用車等	HFC	有	<input type="checkbox"/>
2014/12/23	自動車リサイクル事業所	X0X-X0000X	X-X00X	シャブイ	乗用車等	CFC	有	<input checked="" type="checkbox"/>
2016/03/14	自動車リサイクル事業所	X0X-X0000X	X-X00X	シャブイ	乗用車等	CFC	有	<input checked="" type="checkbox"/>

リコール対象車両は背景色が「オレンジ」で表示されます。

## 【作業①】リコール対象エアバッグの取外回収、分解

リコール対象のエアバッグを車両から取り外しインフレーターの状態まで分解したら、以下の手順に従い指定引取場所に引き渡してください。

	正しい性状	誤った性状	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・インフレーター状態まで分解</li><li>・ハーネスを5cmほど残して切断した上で、先端の被覆をむき剥き合わせてショート</li></ul>	分解不十分 (付属品がついている)	短絡不良 (ハーネスを剥き合わせてショートしていない)
運転席			
助手席			

万一、事故等が発生した場合は、現場を保存（写真等による保存でも可能）の上速やかに自動車再資源化協力機構までご連絡ください。

## 補 足

車上作動処理委託契約事業者の皆さまは、以下の作業もお願いいたします

### 作動 1. リコール対象外のエアバッグ類を車上作動処理し、実績を記録してください

- ☞ リコール対象のエアバッグを取外した後でも一括作動処理が可能です。
- ☞ 車上作動処理を行う際は、「ガラス等の飛散防止」「通電時の距離確保と遮蔽物の設置」「周囲の安全確保」等、安全対策を確実に実施した上で通電してください。

#### 《安全作業の一例》

① ドアを開け、全体カバーをかけてガラス等の飛散防止

② 通電時の距離(5m以上)を確保するとともに遮蔽物を設置。作業者は遮蔽物に確実に隠れる位置で通電してください。

③ 通電時のヘルメット着用

④ 通電時の周囲への声かけ。車台の周囲に人がいないことを確認してください。



※車上作動処理実施後、出火、異常な煙・臭いがないことをご確認ください

- ☞ また、車上作動処理実施の際、インフレーター等が破断し部品が車外に飛散する事象が稀に発生している為、従来の安全作業に加え、以下の対策実施を推奨します。

Ⓐ ハンドル位置を下げ、運転席のヘッドレストを最下部まで下げ、シートを前方に引き出すとともに前に倒す。

ハンドルの向きを下げ、シートを前に倒す事で、運転席側のインフレーター等の車外への飛散を抑えることを期待。



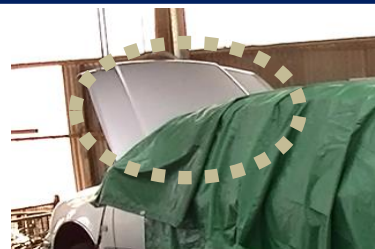
Ⓑ フロントガラスに毛布を置き、その上にカバーをかける

毛布をかけた上に更にカバーをかける事で、飛散防止効果を期待。



Ⓒ ボンネットを開ける

ボンネットを開けた状態で通電することで、インフレーター等の車外前方への飛散を防ぐことを期待。(ポップアップボンネット付車台を除く)



(備考欄に「リコール対象部位(例:助手席)は取外回収」と記入)

エアバッグ類 車上一作動処理 管理台帳				2010年10月度 1頁			解体業者名:〇〇解体△△工場		
① 事務所管理欄(1)		② 作業場管理欄			③ 事務所管理欄(2)			備考	
No.	車台番号	車名	作動処理実施日	車上一作動方式 個別 一括	処理個数	エアバッグ類 移動報告引渡日	解体自動車 引渡先		解体自動車 引渡日
1	AA1234567890	AAAAAA	10/1	○	3				助手席(リコール)は取外回収
2									
3									
4									

作動処理した個数を記入

例:助手席を取外回収した旨を記入

## 作動 2. 自動車リサイクルシステムへの入力

☞ 「一部取外回収・一部車上一作動処理」で引渡報告します。

①〔解体工程 1.10 エアバッグ類処理方法の選択〕

②〔解体工程 1.11 および 1.12 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告〕  
回収ケースを引渡した後、『取外回収』で引渡報告します。

1.8	引渡報告	非認定全部利用者への解体自動車の引渡報告
1.9	引渡先確定済車台の一覧	※非認定全部利用者:メーカ
1.10	エアバッグ類処理方法の選択	エアバッグ類処理方法の選択
1.11	引渡報告	エアバッグ類(取外回収)の引渡報告
1.12	引渡先確定済荷姿の一覧	
1.13	引渡報告	エアバッグ類(車上一作動処理)の引渡報告

「回収」と「作動」の両方にチェックします。

回収	作動
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「処理方法の選択」画面で、『回収』と『作動』の両方にチェックをした場合、「車上一作動処理」での引渡報告は必要ありません。

## 作動 3. 管理台帳のエアバッグ類引渡報告日を記入

☞ 引渡報告が完了したら、管理台帳の

「エアバッグ類引渡報告日」欄にその日付を記入し保管します。

エアバッグ類 車上一作動処理 管理台帳				2010年10月度 1頁			解体業者名:〇〇解体△△工場		
① 事務所管理欄(1)		② 作業場管理欄			③ 事務所管理欄(2)			備考	
No.	車台番号	車名	作動処理実施日	車上一作動方式 個別 一括	処理個数	確認者	エアバッグ類 移動報告引渡日		解体自動車 引渡日
1	AA1234567890	AAAAAA	10/1	○	3	環境太郎	11/1	10/3	助手席(リコール)は取外回収
2			/					/	
3			/					/	
4			/					/	

取外回収で引渡報告した日を記入

<参考>

対象車両

## 外観写真

ボルボ V70



ボルボ XC70



表中の車台番号にはリコール対象外の車両も含まれております。  
必ず移動報告画面のオレンジ表示をご確認ください。

運転席

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 の範囲及び輸入期間	リコール対象 車の台数	備考
ボルボ	CBA-SB5244TW	「ボルボ V70」	YV1SW544952465771 ~ YV1SW544972660883 平成 16 年 10 月 14 日～平成 19 年 5 月 1 日	45	
	CBA-SB5244W	「ボルボ V70」	YV1SW654952483226 ~ YV1SW614982690996 平成 16 年 12 月 15 日～平成 19 年 11 月 30 日	5,693	
	CBA-SB5254AW	「ボルボ V70」	YV1SW595752460441 ~ YV1SW595772675316 平成 16 年 8 月 10 日～平成 19 年 7 月 13 日	416	
	CBA-SB5254W	「ボルボ V70」	YV1SW595952460456 ~ YV1SW595972675249 平成 16 年 8 月 10 日～平成 19 年 8 月 6 日	524	
	GH-SB5234W	「ボルボ V70」	YV1SW53L912056236 ~ YV1SW53L912076728 平成 12 年 10 月 14 日～平成 13 年 1 月 10 日	47	
	GH-SB5244AW	「ボルボ V70」	YV1SW58L711036946 ~ YV1SW58L711135291 平成 12 年 8 月 28 日～平成 13 年 8 月 23 日	44	
	GH-SB5244W	「ボルボ V70」	YV1SW61P911026393 ~ YV1SW61P911140359 平成 12 年 6 月 26 日～平成 13 年 10 月 22 日	1,080	
	LA-SB5244W	「ボルボ V70」	YV1SW65P921209927 ~ YV1SW654951482932 平成 14 年 1 月 29 日～平成 16 年 12 月 27 日	3,452	
	LA-SB5254AW	「ボルボ V70」	YV1SW59G731287827 ~ YV1SW524752498200 平成 14 年 10 月 10 日～平成 17 年 3 月 22 日	1,037	
	LA-SB5254W	「ボルボ V70」	YV1SW59G942349151 ~ YV1SW59G942447094 平成 15 年 4 月 7 日～平成 16 年 7 月 20 日	38	
	TA-SB5234W	「ボルボ V70」	YV1SW53L921207029 ~ YV1SW53L942437895 平成 14 年 1 月 22 日～平成 16 年 6 月 24 日	190	
	TA-SB5244AW	「ボルボ V70」	YV1SW58L721174618 ~ YV1SW58L721268455 平成 13 年 10 月 22 日～平成 14 年 10 月 10 日	63	

	TA-SB5244W	「ボルボ V70」	YV1SW65P921172027 ~ YV1SW58L932326969 平成 13 年 10 月 4 日～平成 15 年 3 月 24 日	402	
	CBA-SB5254AWL	「ボルボ XC70」	YV1SZ595751173129 ~ YV1SZ595771282798 平成 16 年 7 月 27 日～平成 19 年 5 月 7 日	1,759	
	GH-SB5244AWL	「ボルボ XC70」	YV1SZ58L711001150 ~ YV1SZ58L711046751 平成 12 年 7 月 14 日～平成 13 年 10 月 26 日	518	
	LA-SB5254AWL	「ボルボ XC70」	YV1SZ59G731095153 ~ YV1SZ59G741171580 平成 14 年 10 月 1 日～平成 16 年 7 月 22 日	1,023	
	TA-SB5244AWL	「ボルボ XC70」	YV1SZ58L721048436 ~ YV1SZ58L721082426 平成 13 年 10 月 9 日～平成 14 年 10 月 1 日	545	
	(計 17 型式)	(計 2 車種)	(輸入期間の全体の範囲) 平成 12 年 6 月 26 日～平成 19 年 11 月 30 日	16,876 台	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲内には、対象とならない車両も含まれています。  
(備考) 本件は、令和 2 年 12 月 22 日付け届出番号「外-3143」および令和 3 年 12 月 9 日付け届出番号「外-3310」で届出したものですが、対象範囲を拡大する必要があるため、追加で届出するものです。